

全校集会 学校長の話（2025年5月20日）

- 皆さん、おはようございます。いよいよ明日、3年生は修学旅行に出発しますね。
- そして、その5月21日は国連が定めた「世界文化多様性デー」でもあります。まず「多様性（ダイバーシティ）」という言葉、聞いたことはありますか？これは、異なる背景や属性を持つ人々がともに生き、お互いを認め合い尊重し合うことを意味します。地球上には実際に70億を超える人が暮らし、言語・宗教・食べ物・価値観などが幾重にも重なり合っています。
- そこで紹介したいのが「マイクロアグレッション」という言葉です。直訳すると「小さな攻撃」。悪意がなくても、相手の文化や背景を傷つけてしまう、ごくささいな言動を指します。
- たとえば——ミックスルーツの友達に「日本語、上手やね」
　　ブラジルから来た友だちに、「ブラジル人なら、君もサッカーが得意でしょ？」
　　ジェンダーでのマイクロアグレッションでは、技術の木材加工が得意な女子に「女子なのにすごい！」
　　調理実習で男子に「男やのに料理が上手いね！」
　　落ち込んでいる男子に「メソメソするな！男やろ」とか、「男やのにメンタル弱つ」
　　身体的特徴でのマイクロアグレッションもあります。背が高い友達に「バスケット部でしょ？」などなど。
- 一度きりなら笑って流せても、積み重なれば深い痛みに変わります。マイクロアグレッションは、差別やいじめの“温床”となる小さなヒビです。ヒビは早く埋めれば大きな割れ目になりません。「悪気はなかった」の一言では、そのヒビを放置したまま。同じ言葉でも刃にも盾にもなるのだと覚えておいてください。
- 北稜中にも、家で日本語以外を話す友達や、障がいと向き合いながら努力している友達など、多様な仲間がいます。彼らの存在が学校を豊かにしてくれています。だからこそ、自分の言葉が相手の心にどう響くか想像する力が必要です。もしうっかり誰かを傷つける言葉を口にしてしまったら、素直に謝り、学び直せばいい。それこそが成長です。
- 「世界文化多様性デー」は、違いを認め合い、対話を深める日。今日と明日、教室や廊下で聞こえる何気ない言葉に、ぜひ耳を澄ませてみてください。互いを尊重する空気があってこそ、居心地のよい北稜中が築かれます。
- そして3年生の皆さん。明日からの修学旅行、わくわくしながら「これもやりたい、あれも挑戦したい」と思っているでしょう。しかし、いちばん大切なのは自分と友だちの安全です。今晚はスマホを早めに切り上げて、しっかり睡眠を取り、最高のコンディションで出発しましょう。
- それではきょう一日も、互いを思いやる言葉を大切に過ごしてください。